北九州工業高等専門学校	開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	英語ＡⅠ

科目基礎情報

科目番号	0007	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 4
開設学科	生産デザイン工学科（機械創造システムコース）	対象学年	1
開設期	通年	週時間数	4
教科書/教材	World Trek English Communication Ⅰ　及び準拠学習ノート、ワークブック（数研出版） / Active Listening Pre-A1（第一学習社） / Evergreen （いいずな書店） / COCET2600―理工系学生のための必修英単語2600（成美堂）		
担当教員	久保川 晴美,中村 嘉雄		

到達目標

1.中学既習レベルの英単語を理解できる。
2.文科省検定教科書高校1年レベルの英文について、辞書を使って内容理解ができる。
3.理解を終えた英文を、聞き手にわかりやすく音読できる。
4.TOEIC Bridgeで125点相当の点数を取ることができる。
5.英検準2級に合格できる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	中学校既習レベルの英単語、教科書や単語集で学習した重要語句を、主な派生語も含めて理解し、正確に綴れる。	中学校既習レベルの英単語、教科書や単語集で学習した重要語句を、主な派生語も含めて理解している。	中学校既習レベルの英単語、教科書や単語集で学習した重要語句に、理解できないものが多く残っている。
評価項目2	文科省検定教科書高校1年レベルの英文について、辞書を使って内容理解ができる。	文科省検定教科書高校1年レベルの英文について、辞書を使ってほぼ内容理解ができる。	文科省検定教科書高校1年レベルの英文について、辞書を使っても内容理解ができない。
評価項目3	教科書で学習した文法事項や構文を適切な文脈において理解し、自ら運用できる。	教科書で学習した文法事項や構文を文脈の中で理解できる。	教科書で学習した文法事項や構文に理解できないものが多く残っている。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	本授業では、中学既習レベルの英語力を安定させ、「読み」「書き」「話し」「聞く」の4技能を総合的に向上させることを目的とする。各課の単語習得(意味・発音・アクセント)・熟語習得・文法事項理解・内容理解を通じて、語彙を増やし英語の音声に親しみ、高校レベルの英語学習へのしっかりした下地を作る。
授業の進め方・方法	各課の予習(単語調べ、本文全体の通読など)は必須とする。 適宜、小テストや各課の復習テストなどを課す。
注意点	辞書を必ず持参すること。 TOEIC Bridge、全校一斉英単語テスト(「理工系学生のための必修英単語2600」)などの成績は、評価に加味する。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	ガイダンス、中学校までの既出事項の確認	予習復習の仕方、授業の進め方、テストの説明などを理解する。基本語彙・基本文法事項の習得具合の確認、辞書指導、発音指導など
		2週	Lesson 1 (1), Lesson 2 (1)	現在形・過去形／未来を表す表現／現在進行形・過去進行形／SVC・SVO／動名詞／不定詞について理解する。
		3週	Lesson 1 (2), Lesson 2 (2)	現在形・過去形／未来を表す表現／現在進行形・過去進行形／SVC・SVO／動名詞／不定詞について理解する。
		4週	Lesson 1 (3), Lesson 2 (3)	現在形・過去形／未来を表す表現／現在進行形・過去進行形／SVC・SVO／動名詞／不定詞について理解する。
		5週	Lesson 1 (4), Lesson 2 (4)	現在形・過去形／未来を表す表現／現在進行形・過去進行形／SVC・SVO／動名詞／不定詞について理解する。
		6週	Lesson 3 (1), Lesson 4 (1)	受動態／SVOO・SVOC・SVO（O=that節／wh節／疑問詞＋to不定詞）／現在完了／関係代名詞／分詞の形容詞用法）について理解する。
		7週	Lesson 3 (2), Lesson 4 (2)	受動態／SVOO・SVOC・SVO（O=that節／wh節／疑問詞＋to不定詞）／現在完了／関係代名詞／分詞の形容詞用法）について理解する。
		8週	中間試験	1～7週までの内容を網羅した試験により、授業内容の理解の定着を図る。
	2ndQ	9週	Lesson 3 (3), Lesson 4 (3)	受動態／SVOO・SVOC・SVO（O=that節／wh節／疑問詞＋to不定詞）／現在完了／関係代名詞／分詞の形容詞用法）について理解する。
		10週	Lesson 3 (4), Lesson 4 (4)	受動態／SVOO・SVOC・SVO（O=that節／wh節／疑問詞＋to不定詞）／現在完了／関係代名詞／分詞の形容詞用法）について理解する。
		11週	Lesson 3 (5), Lesson 4 (5)	受動態／SVOO・SVOC・SVO（O=that節／wh節／疑問詞＋to不定詞）／現在完了／関係代名詞／分詞の形容詞用法）について理解する。
		12週	Lesson 5 (1), Lesson 6 (1)	形式主語／比較／wouldとused to／過去完了／SVO＋to不定詞について理解する。
		13週	Lesson 5 (2), Lesson 6 (2)	形式主語／比較／wouldとused to／過去完了／SVO＋to不定詞について理解する。

		14週	Lesson 5 (3), Lesson 6 (3)	形式主語／比較／wouldとused to／過去完了／SVO＋to不定詞について理解する。
		15週	定期試験	9～14週までの内容を網羅した試験により、理解の定着を図る。
		16週	定期試験内容についての解説	定期試験の内容を理解する。
後期	3rdQ	1週	Lesson 5 (4), Lesson 6 (4)	形式主語／比較／wouldとused to／過去完了／SVO＋to不定詞について理解する。
		2週	Lesson 5 (5), Lesson 6 (5)	形式主語／比較／wouldとused to／過去完了／SVO＋to不定詞について理解する。
		3週	Lesson 7 (1), Lesson 8 (1)	分詞構文／SVOC（C=現在分詞／C=原形不定詞）／関係副詞／形式主語／つなぎ表現について理解する。
		4週	Lesson 7 (2), Lesson 8 (2)	分詞構文／SVOC（C=現在分詞／C=原形不定詞）／関係副詞／形式主語／つなぎ表現について理解する。
		5週	Lesson 7 (3), Lesson 8 (3)	分詞構文／SVOC（C=現在分詞／C=原形不定詞）／関係副詞／形式主語／つなぎ表現について理解する。
		6週	Lesson 7 (4), Lesson 8 (4)	分詞構文／SVOC（C=現在分詞／C=原形不定詞）／関係副詞／形式主語／つなぎ表現について理解する。
		7週	Lesson 7 (5), Lesson 8 (5)	分詞構文／SVOC（C=現在分詞／C=原形不定詞）／関係副詞／形式主語／つなぎ表現について理解する。
		8週	中間試験	1～7週までの内容を網羅した試験により、授業内容の理解の定着を図る。
	4thQ	9週	Lesson 9 (1), Lesson 10 (1)	助動詞を含む受動態／関係副詞／仮定法過去／間接疑問／関係代名詞what／one, another, other／強調構文について理解する。
		10週	Lesson 9 (2), Lesson 10 (2)	助動詞を含む受動態／関係副詞／仮定法過去／間接疑問／関係代名詞what／one, another, other／強調構文について理解する。
		11週	Lesson 9 (3), Lesson 10 (3)	助動詞を含む受動態／関係副詞／仮定法過去／間接疑問／関係代名詞what／one, another, other／強調構文について理解する。
		12週	Lesson 9 (4), Lesson 10 (4)	助動詞を含む受動態／関係副詞／仮定法過去／間接疑問／関係代名詞what／one, another, other／強調構文について理解する。
		13週	Lesson 9 (5), Lesson 10 (5)	助動詞を含む受動態／関係副詞／仮定法過去／間接疑問／関係代名詞what／one, another, other／強調構文について理解する。
		14週	Reading	既出の文法項目について復習する。
		15週	定期試験	9～14週までの内容を網羅した試験により、理解の定着を図る。
		16週	定期試験内容についての解説	定期試験の内容を理解する。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	1	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	1	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	1	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	1	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	2	前1
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	2	前1
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	2	後12
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	2	後12
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	2	後12
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	2	後12
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	2	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	2	
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	2	

				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	2	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	2	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	2	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	2	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	2	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	2	
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	2	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	2	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	2	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	2	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	2	
				円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。	2	
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディーランゲージなど)。	2	
				他者の意見を聞き合意形成することができる。	2	
				合意形成のために会話を成立させることができる。	2	
				グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。	2	

評価割合

	試験	課題テスト	課題・小テスト等	小テスト	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	67	3	30	0	0	0	100
基礎的能力	67	3	30	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0